

**東風**

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年11月30日発行 第10号

『ふるさと岩内を愛し、志高く夢の実現に向かう』

岩内東小学校長 齊藤 信之

一晩にして、見渡す限りの銀世界となりました。過日は、お足元の悪い中を参観にお越しいただき、ありがとうございました。

デルタ株のまん延により、災害規模とまで言われるほど拡大した新型コロナウイルス感染症も、今は一定程度の収まりを見せ、マスクや手洗いは欠かせないものの子どもたちの活動に少しずつ幅が出てきています。「インターネット・SNS教室」「租税教室」「人権教室」などのように外部の方をお招きして学ぶこと、町の施設・設備や商店等への見学、調理や実験など、徐々に子どもたちの「体験」や「挑戦」を保障することができるようになってきています。実感を伴う満足感の多い学びを保障し続けるためにも、経済活動と感染症対策のベストマッチにより、このまま落ち着いた状態が続いてくれることを願うばかりです。

今月5日には、町をあげて取り組んでいる小中一貫教育の研究大会が行われ、東小6年「理科」、西小6年「算数」、一中1年「英語」の授業をそれぞれ公開しました。本校の6年生は、この日が中学校への登校日となっていたので、朝から中学校へ登校しての授業となりました。一中の岩井教諭が授業を進め、本校の福田、可児の両教諭がサポート役を務めました。子どもたちが学ぶ姿を通して、全町的に取り組んでいる「学習のきまり」や「学習の進め方」をはじめ、義務教育学校を展望しての取組の成果と課題について検証したところです。また、町内全ての小中学校の先生方が3つの分科会に分かれ、義務教育9年間を通して「ふるさと岩内を愛し、志高く夢の実現に向かう」子どもたちを育てるためには、「何を」「どのように」進めていったらよいかということについて熟議しました。残念ながら町外からの参加者については、動画配信としたため、本町の子どもたちの姿がどのように映ったのかを直接お聞きすることはできていませんが、これからも、町内各学校が目標を一つに力を合わせ、一つ一つ成果を積み上げながら着実に前へ進んでいきたいと思えます。

降雪期を迎え、自家用車での送り迎えの機会が増えることが考えられます。かねてより児童玄関周辺への駐停車はしないようお願いしてきていますが、道幅が狭くなる冬期間は、ますます後ろからの車に迷惑をかけることとなります。通勤に急がれている方も多く、お困りとの電話をいただくことも度々です。お子さんの乗降は、くれぐれも学校敷地内の駐車でお願いします。